# 副会長に上山、川畑、羽月氏

## 委員会構成も決まる

### 県建築協会

県建築協会（内村實会長）の副会長及び委員会構成がこのほど、決定した。

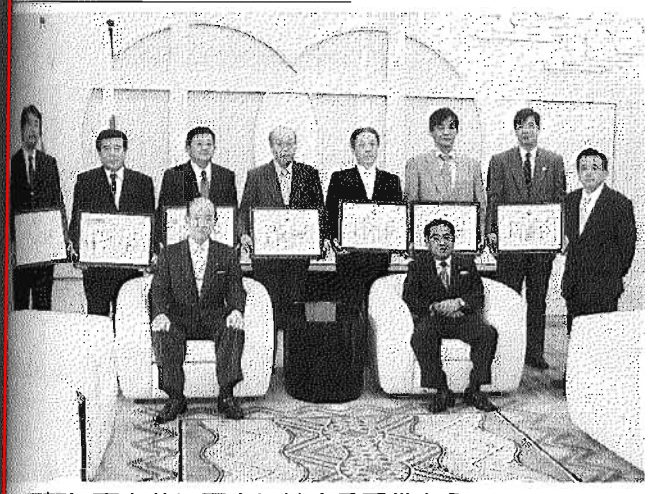
副会長及び委員会構成は次の通り。

副会長＝上山一吉（上山建設㈱）川畑勇三（川畑建設㈱）羽月信雄（有）三恭建設）▽総務委員長＝上塘守（㈱上塘組）▽同副委員長＝堀ノ内重夫（㈱堀之内建設）内門一郎（㈱内門工務店）▽同委員＝伊藤俊一（伊藤建設㈱）大坪祥浩（㈱大成寺工務店）小林正義（小林建設㈱）千原弘（千原建設㈱）久永早苗（久永建設㈱）福永茂（㈱春園組）本田幸廣（㈱本田建設）前田正人（三和建設㈱）前屋敷俊光（㈱前屋敷組）山下理（山理建設）▽受注対策委員長＝福永茂▽同副委員長＝小林正義　諏訪園隆（坂本建設㈱）▽同委員＝伊藤俊一　大坪祥浩　久永早苗　堀ノ内重夫　本田幸廣　前屋敷俊光▽工事委員長＝前田正人▽同副委員長＝末廣秋男（㈱末広建設）川井田哲（㈱川井田組）▽同委員＝宇都要一（㈱宇都組）小島安範（㈱小島建設）小林正義　田頭講治（㈱田頭建設）中村明人（協和建設㈱）深野木信（㈱深野木組）南明人（南建設㈱）山下理　横村満昭（横村建設㈱）▽労務委員長＝山下理▽同副委員長＝増森茂隆（㈱新栄建設）南明人（南建設㈱）▽同委員＝宇都要一　梅木一宏（斉藤建設㈱）大坪祥浩　上塘守　川井田哲　鶴留政博（㈱鶴留建設）中村明人　深野木信　堀ノ内重夫　横村満昭▽研究開発委員長＝千原弘▽同副委員長＝本田幸廣　横村満昭▽同委員＝内門一郎　梅木一宏　小島安範　末廣秋男　諏訪園隆　田頭講治　鶴留政博　増森茂隆▽編集小委員長＝上塘守▽同副委員長＝内門一郎　堀ノ内重夫▽同委員＝川井田哲　千原弘　深野木信▽積算小委員長＝前田正人▽同副委員長＝末廣秋男　川井田哲▽同委員＝宇都要一　中村明人　深野木信　横村満昭

## 森組社長らに県知事褒賞

# クジラ救出で県民に感動

県は31日、鹿児島市の県庁で、去る1月22日に川辺郡大浦町の小湊千拓に漂着した巨大マッコウクジラの救出・処理作業に率先して従事した、大浦町をはじめ、加世田市、地域漁業組合の代表ら計7人に、その努力に栄誉を称え知事褒賞を贈



須賀知事と共に写真に納まる受賞者ら
＝鹿児島市の県庁で

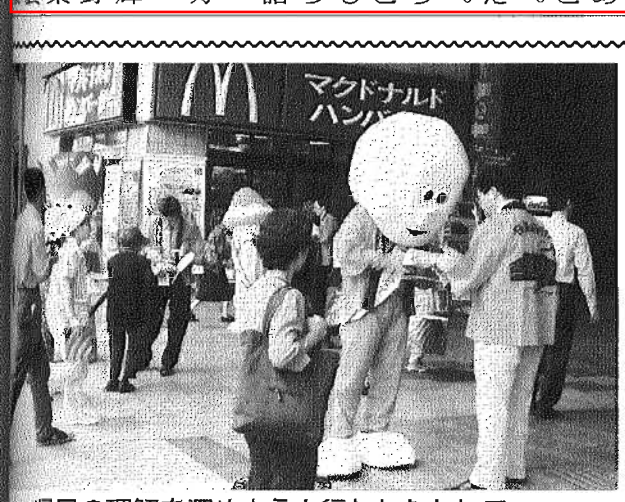
今回の褒賞は、座礁した大型のマッコウクジラ14頭の救出や処理に際し、世界に類をみない作業にもかかわらず、官民が一体となって献身的且つ迅速にクジラ1頭救出と13頭の処理に取り組み、県民に生命の尊さを広く再認識させ、感動を与えたことから受賞となった。

知事室奥の特別会議室で行われた授賞式で、受賞者に対して須賀知事から「県としても今回のことを教訓に、処理対策（技術マニュアル）、財政対策などを早急に国へ要請し、いかなるときにも迅速に対応できるよう要請していきたい。今後も地域のために一体となって取り組んでいただきたい」と労いの言葉を送ると、受賞者を代表して前野輝行大浦町長が「国や県のあたたかい配慮で、けがもなく無事に任務を終えることができ誠にありがとうございます」と感謝のことばを述べた。

受賞者の森社長は「ただ無我夢中で頑張った。水産庁と県からこのように褒賞をいただいたことをうれしく思う。今後も地域のために微力ながら貢献していきたい」と語った。

受賞者は次の通り（カッコ内は受賞者代表）。

表彰＝大浦町（前野輝行町長）加世田市（川野信男市長）加世田市漁業協同組合（福島満喜代表協同組合（中尾雄作代表理事組合長）野間池漁業協同組合（宮内叶代表理事組合長）㈱森組（森千秋代表取締役）▽感謝状＝独立行政法人水産総合センター遠洋水産研究所（加藤秀弘鯨類生態研究室長）




県民の理解を深めようと行われたセレモニー
＝鹿児島市の山形屋前で

## 土砂災害防止月間オープニングセレモニー

# 防災知識の普及促す

県及び国土交通省九州地方整備局大隅工事事務所、県土木協会は31日、鹿児島市の山形屋デパート入口前付近で土砂災害防止月間オープニングセレモニー及びパネル展を実施し、防災知識の普及と啓発を市民に促した。

同セレモニーは、土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害から人命や財産を守るため、県の関係者より、毎年のように人命や財産に被害がでていることから、土砂災害防止に対する県民の理解と関心を深め、防災知識の普及を図るとともに、警戒避難体制の整備などを促進し、土砂災害による人命、財産の被害防止などを目的に毎年実施している。

県は、県の関係者やミス鹿児島の猪俣恵子さん、桜島火山砂防のマスコットである火山君、マグマちゃん、ゴロー君らが道行く人に啓発チラシなどを配布すると、マスコットなどに子供らが群がり、1000個以上あったうちわやティッシュなどが瞬く間になくなった。

また、山形屋のギャラリーに展示されたパネルやポスターで砂防知識の普及と土砂災害の恐ろしさなどを周知した。

## ヤマシタが奉仕作業

# スクールゾーンをやぶ払い

㈱ヤマシタ（山下鉄美社長）は30日、姶良郡溝辺町立陵南小学校のスクールゾーンでやぶ払いの奉仕作業を行い、近隣住民に感謝された。同社では、5年程前から年2回の奉仕作業を実施しており、今回はスクールゾーンの町道及び沿線広場での作業となった。

当日早朝、同社に集合した参加者約15人を前に山下社長は「本日の奉仕作業は、日頃騒音などで迷惑をかけている地域への恩返し。けがなどのないよう、安全には十分注意して作業してほしい」と挨拶。参加者は早速2班に分かれて作業場所へと出発した。

町道や広場には雑草が背よりも高く生い茂っており、草刈機を手にした参加者は、一斉に作業に取りかかった。

午後からはあいにくの雨天となり、水分を含んだ雑草はずっしりと重く、参加者は「思ったよりも重労働」と苦笑しながらも熱心に作業を進め、刈り取った雑草は4トントラック10台分にもなった。

夕刻になってやっと作業は終了。さすがに疲労の色は隠せなかったが、見違えるようにきれいになった町道や広場に、参加者は満足げだった。

雨の中、熱心に作業する参加者
＝溝辺町の現地で

## 「木炭ではシロアリ侵入は止められない」

### 日本しろあり対策協会県支所

# きょう、試験結果発表

日本しろあり対策協会県支所（西村兼美支所長）はきょう1日、薩摩郡樋脇町のサンシャイン和光で、木炭系塗料の防蟻効力について「木炭ではシロアリ侵入は止められない」との試験結果を発表する。

県内でも、シックハウス対策に関連し、健康建材・エコロジー建材と称した木炭系塗料が施工販売。木炭系塗料のカタログ、広告では「炭で作った防蟻塗料」、「死中率100％」、「害虫忌避作用がシロアリを寄せ付けない」等と、木炭の防蟻効果が打ち出されている。そこで今回の研修会で、県内に生息し、住宅に多大な被害を与えるイエシロアリについて、実際に木炭で侵入を止められるか確認試験を行った廣瀬産業㈱（廣瀬博宣社長）の試験結果を発表するもの。

確認試験では、県内で市販されている木炭系塗料、木炭について、実際にイエシロアリの巣を用いて実施。木炭系塗料の実験では、試験を開始して十数分で、木炭塗料を乗り越え、木材に加害するシロアリが観察。一カ月後には、木炭系塗料で処理された木材の被害も確認され、木炭に忌避性がないことも確かめられたという。

木炭系塗料、木炭系調湿剤ではイエシロアリの侵入を止める効果はなく、忌避性もないことから、今後、日本しろあり対策協会県支所では、「木炭系塗料、木炭調湿剤、木酢酸、ヒバ油などの使用は、イエシロアリ対策としては不十分であり、シックハウス対策に便乗した防蟻方法には注意をしてください」と、呼びかけていくという。

“真心とほほ笑みと”をモットーに心より御奉仕致します。
南日本家具工芸株式会社
婚礼家具，造作家具，増改築，ジュータン
カーテン，他，家具総合卸
鹿児島市東開町13－30
TEL (099)269-7111
FAX (099)268-0385